

探究心を駆り立てる施設がいっぱい!

七尾市では、旧石器時代の遺跡はまだ発見されていませんが、縄文時代の遺跡はたくさん発見されています。また、弥生時代の住居跡やお墓も国分高井山遺跡や細口源田山遺跡などで見つかっています。

代表的な古墳は看板を設置してあったり、環境整備をしてあったりしています。大部分は、山林や丘陵地にあります。七尾市内の遺跡の場所を知りたい場合、「七尾市遺跡地図」をご覧ください。(図書館などにあります)

奈良・平安時代の能登国分寺や国府は、能登国分寺展示館で学ぶことができます。

また、能登畠山氏や七尾城跡は、七尾城史資料館・懐古館で学ぶことが出来ます。さらに、田鶴浜東嶺寺は、畠山氏の有力家臣であった長氏の菩提寺で、境内には長家の立派なお墓もあります。

近現代を、ご紹介する展示施設はありませんが、今も変わらず利用されていたり、辛うじて残っていたりするものもあり、自分で調べてみるのも楽しい試みだと思えます。ぜひチャレンジしてください。

わからない点などがありましたら、お気軽に文化課までご連絡ください。

☎53-8437



入館料：無料
七尾市矢田町5号41
☎53-5071

七尾市文化財資料展示館

縄文・弥生時代の遺物、万行遺跡の出土品を展示。ほかに昭和のくらしコーナーや古代歴史体験コーナーもあります。



入館料：一般(高校生以上) 100円
七尾市能登島須曾町タ21-5
☎85-2022

蝦夷穴歴史センター

須曾蝦夷穴古墳や能登島の遺跡について解説。船や漁具などの民俗資料も展示しています。



入館料：一般500円・高校生400円・小中学生300円
七尾市中島町横田1-148
☎66-2200

祭り会館

国指定重要無形民俗文化財であるお熊甲祭を中心に、中島の杵旗祭などを分かりやすく展示。中島の歴史と文化を紹介する展示もあります。



入館料：一般(高校生以上) 200円
七尾市国分町リ-9
☎52-9850

能登国分寺展示館

発掘調査出土品を中心に、能登国分寺の歴史を分かりやすく展示。縄文丸木舟や赤浦遺跡、細口源田山遺跡の出土品も展示しています。



入館料：一般300円・小中高生100円
七尾市中島町外ナ13
☎66-0175

明治の館

明治12年から10年がかりで造られた豪壮な屋敷。近年改築修理され、往時の姿を彷彿とさせます。当主室木家の資料も展示しています。



入館料：一般200円・大高生160円(懐古館も同額)
七尾市古屋敷町タ8-6
☎53-4215

七尾城史資料館・懐古館

七尾城跡の出土品や城主の書状など、七尾城や能登畠山家にまつわる資料を展示。隣にはかやぶきが美しい懐古館も見所です。

※休館日は各館にお問い合わせください。 ※開館時間は、9:00～17:00(入館16:30まで)

山市晴嵐の城下町 七尾

茲顧七尾之有絶境、懷太守之惠、

而移家山下者、千門万户、

与城府相連、殆一里程餘、

吳綾・蜀錦、粟米・塩鉄、

有行商、有坐賈、山市晴嵐也

『猶如昨夢集』「独楽亭記」より

【解説】

山市晴嵐の城下町 七尾

七尾の町がこれほどまでに繁栄しているのは、能登の太守である第7代畠山義総のすぐれた政治手腕によるもの。

七尾城の麓には、多くの人々が移り住み、家並みが約一里（約4キロメートル）も続いている。

その町の中は、行商人たちが行き交い、中国の織物や粟、鉄などが売られる店舗が立ち並ぶ市場町で、活況に満ちあふれている。

彭叙守仙（京の臨濟宗の僧）著
『猶如昨夢集』所収「独楽亭記」

（天文13年（1544年）より

16世紀の七尾は「山市晴嵐の城下町七尾」の内容にあるように、活気に満ちた町だったことがわかる。この時代だけではなく、「原始土代」から「現代」と、私たちが住む七尾は、栄え続けてきたのである。

そこには、その時代に重要なキーワードがあり、その歴史を、次世代の担い手に語り伝えていかなければならない。そこから、ふるさとに愛着を持つ人たちが増えるのではないか。

この特集から、ふるさと七尾の歴史を知ってもらい、そして展示館や資料館を巡り、さらに歴史の知識を深め、郷土への誇りを抱いてもらえればと願う。